TDB

株式会社帝国データバンク
高松支店
高松市錦町 1-11-3
TEL：087-851-1571
URL：https://www.tdb.co.jp/

特別企画：四国地区 スーパーマーケット主要 20 社 業績動向調査（2021 年度）

2021 年度の売上高、2 年連続で増加

はじめに

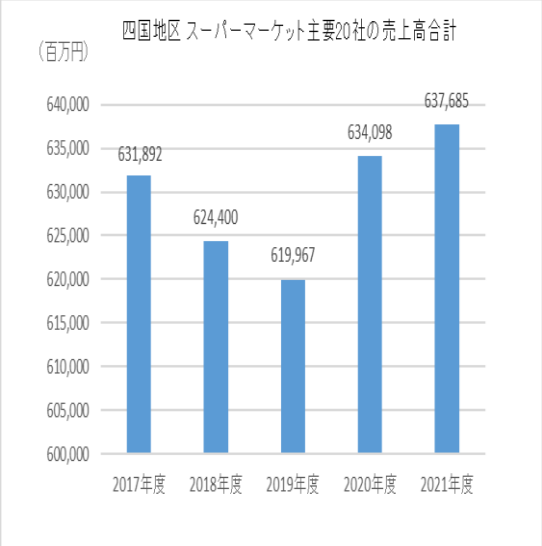
スーパーマーケット業界では、コロナ禍における「巣ごもり消費」などで市場は拡大したものの、少子高齢化の進展により中長期的には縮小が予想されるほか、ＥＣやホームセンター、ドラッグストアなど異業種間での競争が激化している。

四国内においても、2019 年に（株）マルヨシセンター（東証スタンダード）が（株）イズミ（東証プライム）と資本業務提携、2021 年には（株）マルナカ（香川県）がマックスバリュ西日本（株）（広島県）に吸収合併されたほか、（株）フジ（愛媛県）がマックスバリュ西日本（株）と経営統合するなど、大手を中心にスーパーマーケットの再編が行われた。取り巻く経営環境が変化するなか、四国地区の地場スーパーマーケットの業績はどのように推移しているのだろうか。

帝国データバンク高松支店は、2021 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2017 年度（2017 年 4 月期～2018 年 3 月期）から 2021 年度（2021 年 4 月期～2022 年 3 月期）までの決算の年売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在するスーパーマーケット主要 20 社を抽出し、年売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

調査結果（要旨）

1. 2021 年度の年売上高合計は 6,376 億 8,500 万円
   前年度と比べて 35 億 8,700 万円（0.6%）多く、2 年連続で増加
2. 2021 年度の利益額合計は 75 億 8,107 万円
   前年度と比べて 7 億 7,554 万円(9.3%)少なく、3 年ぶりに減少



©TEIKOKU DATABANK, LTD.

1.年売上高推移、2 年連続で前年度を上回る

四国地区に本社が所在するスーパーマーケット主要 20 社について、2017 年度～2021 年度決算の年売上高合計をみると、2021 年度は 6,376 億 8,500 万円となり、前年度と比べて 35 億 8,700 万円（0.6%）多く、2 年連続で増加した。増減収の社数別内訳は、増収が 7 社に対して減収は 12 社、1 社が横ばいであった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う「巣ごもり消費」の一巡で減収となった企業が多かったものの、出店効果が見られた企業の増収が全体を押し上げた。

年商規模別にみると、「100 億～500 億円未満」（前年度比 1.7%減）のみ前年度を下回ったが、「100 億円未満」（同 0.4%増）、「500 億円以上」（同 2.8%増）はいずれも前年度を上回った。

（単位：百万円）

年度	売上高合計	前年度比（%）	売上高合計（年商規模別）		
			100億円未満	100億～500億円未満	500億円以上
2017年度	631,892	▲ 0.9	43,417	281,468	307,007
2018年度	624,400	▲ 1.2	43,160	278,141	303,099
2019年度	619,967	▲ 0.7	44,489	272,107	303,371
2020年度	634,098	2.3	46,306	287,502	300,290
2021年度	637,685	0.6	46,488	282,534	308,663

2.利益額推移、3 年ぶりに前年度を下回る

2017 年度～2021 年度決算の利益額合計（当期純利益）をみると、2021 年度は 75 億 8,107 万円となり、前年度と比べて 7 億 7,554 万円（9.3%）少なく、3 年ぶりに減少した。減収による影響や、光熱費など販管費の増加、減損会計、固定資産除却損を計上した企業があり、利益額合計は減少した。

年商規模別にみると、「100 億円未満」（前年度比 37.6%増）、「100 億～500 億円未満」（同 2.7%増）はいずれも前年度を上回ったが、「500 億円以上」（同 35.4%減）のみ前年度を下回った。

（単位：千円）

年度	利益額合計	前年度比（%）	利益額合計（年商規模別）		
			100億円未満	100億～500億円未満	500億円以上
2017年度	5,675,656	▲ 2.5	435,125	1,504,531	3,736,000
2018年度	5,143,725	▲ 9.4	▲ 597,092	173,817	5,567,000
2019年度	5,327,205	3.6	709,015	784,190	3,834,000
2020年度	8,356,611	56.9	711,400	4,365,211	3,280,000
2021年度	7,581,071	▲ 9.3	978,624	4,483,447	2,119,000

※2018 年度における「100 億円未満」のマイナスは、多額の固定資産売却・除却損や減損損失を特別損失として計上した企業が全体を押し下げたことが主な要因

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社が所在するスーパーマーケット主要 20 社の 2021 年度の売上高合計は、2 年連続で増加したことがわかった。2020 年度の増加要因であった新型コロナウイルス感染拡大による「巣ごもり消費」が一巡し、行動制限も限定的であったため減収となった企業もあったが、新規出店による効果で増収となった企業が全体を押し上げたとみられる。

こうしたなか、2022 年度に入っては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限がさらに緩和されており、「巣ごもり消費」に対する反動減がより顕著となっている。また、四国以外の資本による新規出店が見られることや、消費者によるＥＣ・宅配利用の拡大、ホームセンター、ドラッグストアなど異業種間での競争が激化するなど、経営環境の厳しさが増している。さらには、円安を背景とした食品の値上げが相次いでおり、販売価格への転嫁で客単価の改善が期待できる一方で、消費者による買い控えの動きによる販売点数の低迷が懸念されるとともに、電気代・ガス代の高騰による経費負担の増加が収益面にも影響を及ぼしていることから、引き続き動向を注視したい。

＜参考＞

四国地区 スーパーマーケット主要20社　2021年度売上高ランキング　（単位：百万円）

順位	商号	本社所在地	売上高（2021年度）	前年度比増減	前年度比増減率（%）
1	株式会社　フジ	愛媛県松山市	308,663	↑	2.8
2	株式会社　サニーマート	高知県高知市	43,356	↑	1.2
3	株式会社　マルヨシセンター	香川県高松市	38,464	↓	▲ 4.5
4	生活　協同組合　コープえひめ	愛媛県松山市	37,467	↓	▲ 1.7
5	株式会社　キョーエイ	徳島県徳島市	33,399	↓	▲ 3.9
6	株式会社　エースワン	高知県高知市	24,399	↑	1.8
7	生活　協同組合　コープかがわ	香川県高松市	20,410	↓	▲ 0.8
8	株式会社　サンシャインチェーン本部	高知県高知市	19,846	↓	▲ 2.8
9	株式会社　きむら	香川県高松市	16,455	↓	▲ 2.9
10	こうち生活　協同組合	高知県高知市	12,670	↓	▲ 0.8
11	生活　協同組合　とくしま生協	徳島県板野郡	12,241	↓	▲ 1.2
12	株式会社　ママイ	愛媛県新居浜市	12,000	→	0.0
13	株式会社　サンプラザ	高知県土佐市	11,827	↓	▲ 5.1
14	株式会社　日東物産	愛媛県松山市	8,961	↑	3.1
15	株式会社　松山生協	愛媛県松山市	7,800	↑	0.3
16	株式会社　木村チェーン	愛媛県新居浜市	6,817	↓	▲ 0.0
17	株式会社　ムーミー	香川県高松市	6,640	↑	2.3
18	株式会社　そごうマート	愛媛県西条市	5,713	↓	▲ 4.0
19	フードブレイン　株式会社	愛媛県四国中央市	5,531	↑	2.7
20	株式会社　今治デパート	愛媛県今治市	5,026	↓	▲ 3.1

※（株）フジのスーパーストア事業は、2022年3月1日に（株）フジ・リテイリング（愛媛県松山市）へ移管している

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク　高松支店　担当：須賀原　欣彦、道田　祐一

TEL：087-851-1571　　FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。